



HOSPITAL GUIDE

ホスピタルガイド

射水市民病院
Imizu Municipal Hospital



ごあいさつ

外科医師 深原 一晃(ふかはら かずあき)

経歴：1979年 新湊小学校 卒業
1982年 新湊西部中学校 卒業
1985年 高岡高校 卒業
1991年 富山医科薬科大学 卒業
専門：心臓血管外科



この度、島多勝夫先生の後任として4月に院長を拝命しました深原一晃と申します。この「地域連携だより」の紙面をお借りして、就任のご挨拶を申し上げます。

わたくしは射水市(旧新湊市)の生まれで、1991年に富山医科薬科大学を卒業し、母校の第一外科に入局しました。第一外科で心臓血管外科医としてのトレーニングをスタートし、4年間の海外留学を経て2001年に大学病院に帰学し、その後20年あまり大学で心臓外科医として多くの患者さんの手術に携わらせていただきました。島多先生の退官に当たってお声をかけていただき、生まれ育った地元の病院ということもあり、残りの医師人生を地域医療を中心とした患者さんにより近い状況で一から医療に取り組みたいと決心しました。

大学病院では心臓血管外科という専門性の高い職種でしたので、わたくしにとって地域医療は全く新しい分野になります。専門であった心臓血管外科の医療は完全なチーム医療であり、術前、術中、術後と多くの職種のスタッフが力を合わせてひとりの患者さんの命を救う努力をしています。その習熟度の高さにより、手術成績が決まりますが、その中で重要なことは多職種でコミュニケーションを良くして同じ目標を持ち、方向性を定めて各部署のスタッフが医療のプロフェッショナルとしての役割を果たしていくことだと考えています。射水市民病院においても、地域の医療機関のスタッフの方々のいろいろな意見をお聞きし、風通しの良い病院にしたいと思っております。

今年度の診療報酬改定では、地域医療の役割について機能分化・強化が求められ、かかりつけ医の評価と外来機能の明確化、多職種連携など、これまで以上に地域の医療連携が重要になってくることになりました。地域住民の健康と命を守るために、大学病院との連携も強化し、射水市の基幹病院として住民の方々のみならず、医療関係者の方に頼られる病院にしてゆきたいと思っております。医療機関の皆様にはご支援いただきますよう、どうかよろしく申し上げます。

理念・基本方針・展望

- 理念** 生命を尊重し 患者一人ひとりに最適な医療を提供する
- 基本方針** 患者個人の尊重
 - 1 患者の最も利益になる医療を実践する
 - 2 常に患者とともにある医療を実践する
 - 3 十分な説明と同意に基づく透明性の高い医療を実践する
- 最適な医療**
 - 1 科学的根拠に基づく個別医療を実践する
 - 2 安心と希望を与える医療を実践する
 - 3 医療の安全管理に最善の努力をする
 - 4 よりよい医療への高い理想を持ち精進を怠らない
- 地域への貢献**
 - 1 地域の医療・福祉・保健機関と相互協力する
 - 2 職員が誇りと夢を持てる病院にする
 - 3 健全で特徴ある病院運営に努力する
- 展望**
 - 1 地域住民から最も信頼され親しまれる病院になる
 - 2 創意工夫とチームワークにより特色ある医療を展開し常に進歩する病院になる

当院の特色

射水市民病院は、内科、循環器内科、外科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、婦人科、歯科口腔外科の14診療科を有し、循環器疾患などの救急疾患や重症患者に対応できる高度医療機器（高性能CT、MRI、RI装置や心血管連続撮影装置など）を備え、二次救急医療を行っています。

併設施設として、人工透析センターのほか健康管理センターでは健康診断や人間・脳ドックに毎日対応しています。

また、心臓血管センターでは、急性や重症の心疾患の診療だけでなく、回復期への心臓リハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。

地域の医療機関とは、高度医療機器・開放型病床の利用や症例検討会を通じて連携を深めています。

病状が安定した患者さんが安心して退院できるように、地域包括ケア病棟を2病棟99床を設け、治療と在宅復帰に向けた支援を行い、訪問診療も積極的に行っています。

地域の皆様に親しみやすい病院を目指して、質の高い医療の提供に努めています。

- ・急性期病棟と地域包括ケア病棟を併設し、在宅復帰への支援を行う「地域密着型」
- ・循環器医療を中心とした急性期患者に対応した診療体制
- ・専門外来（鼠径部ヘルニアセンター、子どものこころの外来等）の実施
- ・骨粗鬆症予防教室の開催 等

施設案内

Institution guidance



受付窓口 1F

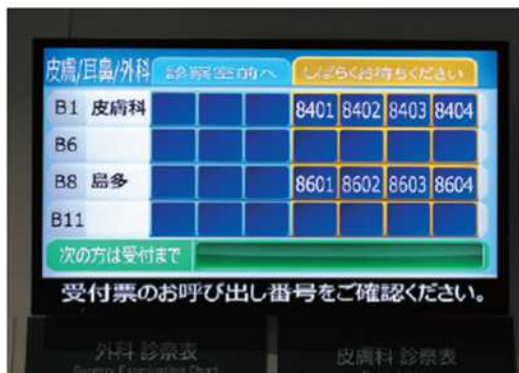
予約診療番号表示による 待ち時間の少ない診療

できるだけ患者さんに短い待ち時間で充実した医療を受けていただけるように予約診療制を採用し、診療番号表示システムによりスムーズな診療を提供しています。



各種受付・会計窓口

受付順ではなく、早い予約時間の患者さんほど早い診療番号となり、番号順の診療を厳守しています。個人情報保護の観点から、患者さんの氏名を呼ばず、番号でお呼びすることもできます。



外来診療番号表示システム



Aブロック（内科・循環器内科・泌尿器科）受付窓口

安心して治療を受けていただくために

快適な入院環境

一般病棟は195床（うち地域包括ケア病床99床、開放病床10床）、結核病床が4床あり、患者さんがゆったり過ごせるよう1人当たりの面積を広くするとともに、全室にトイレと洗面所を設置しています。

各病棟にはトイレ付きの個室だけでなく、バス・トイレ、ミニキッチン付きの特別個室があります。

各病棟の中央にはデイルームを設置して、くつろげる空間作りをしています。



個室



デイルーム



特別個室

心臓血管センター 3F

高度循環器治療

心臓血管センターでは、急性期の重症循環器疾患に対する高度治療や、急性期治療後の回復期から社会復帰までの治療やリハビリテーションを行っています。また多職種専門職員の力を結集して、循環器疾患の予防、長期的治療管理、および生活習慣病対策にも力を入れています。



心臓血管センター窓口

心臓リハビリテーション 2F

より活動的な生活支援

心筋梗塞や心不全などの心臓病や心血管手術後の患者さんが、安全で快適な日常生活を送れるように、一人ひとりに安全で最適な運動メニューを処方し、身体活動能力を高めるトレーニングを支援しています。



心臓リハビリテーション室

最新鋭の医療設備と高度医療

的確な診断と最適な治療

射水市の地域医療の拠点として高度医療を提供できる十分な機能と最新の医療設備を整えています。高性能CTやMRIおよびRI装置や心血管連続撮影装置などの高度医療機器を備え、迅速な診断と適切な治療に活かしています。また、消化器がんや乳がんなど早期診断のための内視鏡室、マンモグラフィなどの設備も整っています。

とりわけ心血管疾患においては、高性能64列マルチスライスCT装置により、外来で冠動脈病変の的確な診断ができ、患者さんの身体的・経済的負担を大幅に軽減します。また3次元CT画像と連携した高性能の心血管連続撮影装置により、冠動脈病変の正確な位置と性状が判定できるため、安全で最適な治療が受けられます。



CT装置 令和5年3月更新



心血管連続撮影装置



MRI装置 令和2年1月更新



マンモグラフィ 平成31年1月更新



骨密度検査 平成29年11月更新

人工透析センター・外来化学療法室 2F

快適な透析および外来化学療法環境

診療棟2階のセンターで14台のベッドで人工透析を行っています。ベッド間隔は十分に確保されており、明るくゆったりとした環境で快適な治療を受けることができます。

外来化学療法室は8床あり、静かな空間でリラックスして治療を受けられます。



人工透析センター

外来化学療法室

地域連携室 1F

地域との連携重視

地域の医療機関や介護保険事業所との連携の窓口として、患者さんに切れ目のない医療・看護・介護サービスを提供できるような支援・調整などの各種業務を行っています。

また、「かかりつけ医」のいる患者さんの総合的な医療を推進・支援するため、「かかりつけ医」と射水市民病院の橋渡しも行っていきます。

- 1 高性能CTやMRIなどの高度医療機器の利用
- 2 患者さんの治療方針の検討、情報共有
- 3 手術や入院などの加療

入院支援（入院相談、病院説明、オリエンテーション）

入院する患者さんやご家族に入院説明を行い、不安の軽減や疑問への早期対応を行っています。



健康管理センター 2F

疾病の早期発見・早期治療に向けて、健康診断の拠点として健康管理センター（一般健康診断、特定健診、特定保健指導、人間ドック、脳ドック）があります。



地域包括ケア病棟 4F・5F

安心して退院するために

急性期の治療によって比較的病状が安定した患者さんや在宅療養中に入院が必要になった患者さんに対し、治療と在宅復帰に向けた支援などを行い、安心して退院していただくための病棟です。

デイルームは木目柄を基調にした落ち着いた空間に、廊下の壁紙は温かみのある黄色やピンク色とするなど、明るい病棟で患者さんが過ごしやすく、スムーズに在宅へ移行できるよう退院に向けた準備をお手伝いしています。

レスパイト入院を利用できます

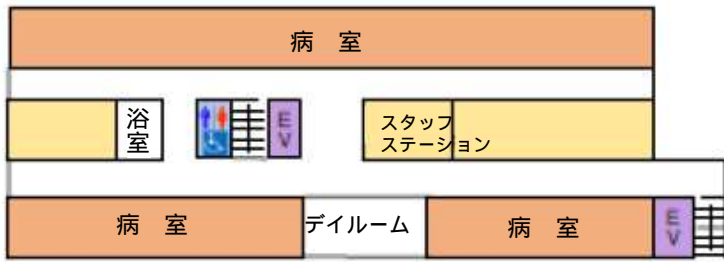
在宅で常時の医療管理及び介護が必要な方を対象に、一定の期間を設けた入院の受け入れを行い、介護者の負担軽減（休息）をしていただくための仕組みです。



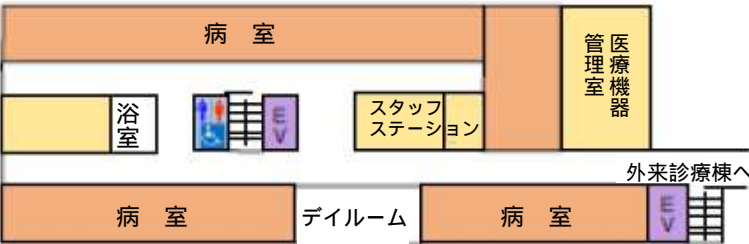
病棟

外来診療棟

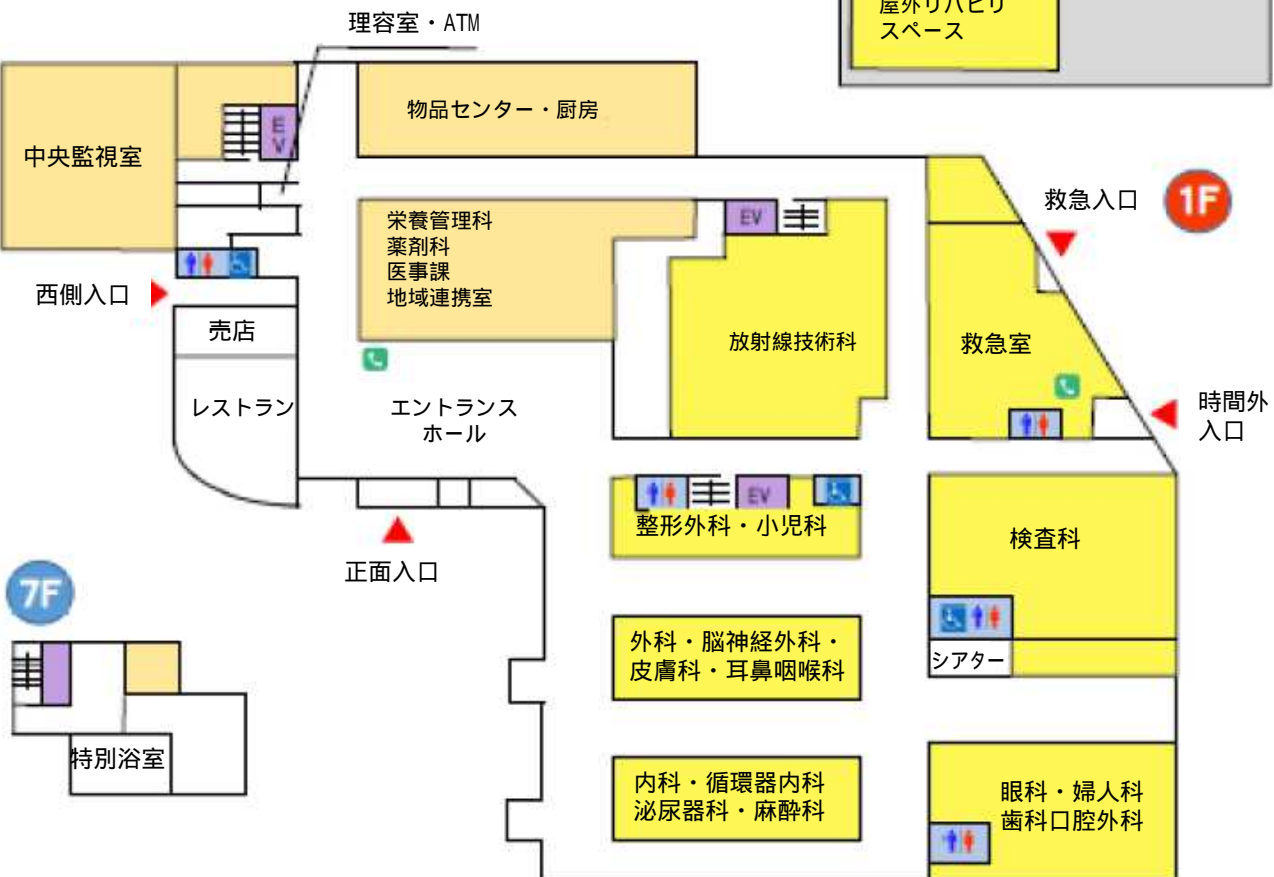
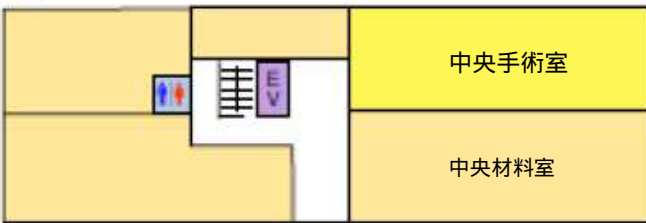
4F 5F 地域包括ケア病棟 6F 病棟



3F 病棟・心臓血管センター



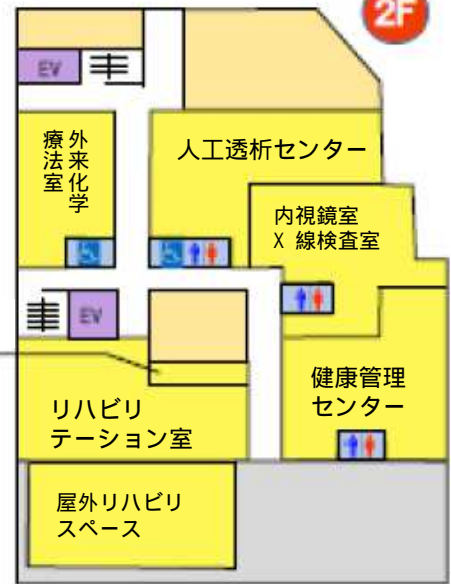
2F 中央手術室



3F

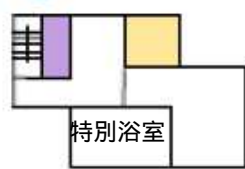


2F



1F

7F



沿革

昭和25年7月	高岡市立新湊病院として発足
昭和26年3月	新湊市立新湊病院と改称 (同年1月、市制施行により高岡市から分離、新湊市となる)
昭和34年11月	二の丸地区へ移転新築 内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科及び作道分院を有する 病床数127床(一般88床、結核22床、伝染17床)として新発足
昭和42年	作道分院を廃止
昭和51年3月	現在地(朴木)に移転新築し、新湊市民病院と改称 伝染病棟17床は旧所在地で存続
4月	新病院で業務開始(内科、外科、整形外科の3科) 病床数150床(一般128床、結核22床)うち労災委託病棟50床
昭和53年10月	現在地に伝染病棟17床を併設、病床数167床
昭和54年10月	小児科開設
昭和56年10月	眼科開設
平成8年10月	皮膚科開設
平成9年4月	新病棟完成
平成10年4月	新診療棟完成(各科外来、健康管理センター稼働) 泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、歯科口腔外科及び麻酔科を開設 病床数200床(一般病床195床、結核病床5床)
10月	人工透析センター稼働
平成12年4月	放射線科開設(計13科)
平成17年11月	射水市民病院に改称(市町村合併で射水市となる)
平成18年9月	循環器科開設(計14科)
平成19年4月	許可病床数199床(一般病床195床、結核病床4床)に変更
平成20年4月	日本医療機能評価機構病院機能評価 Ver5.0 認定 外来化学療法室稼働
平成21年7月	DPC指定病院
9月	高度治療室(HCU)開設
平成22年10月	心臓血管センター開設 先進的ICT遠隔医療システム(IMIZUNO-HOME)稼働
平成24年3月	X線CT用被ばく低減装置導入
11月	7対1看護導入
平成25年11月	日本医療機能評価機構病院機能評価 3rdG:Ver1.0 認定
平成26年9月	地域包括ケア病棟開設(4階病棟)
平成27年12月	新診療棟で診療開始 電子カルテシステム導入 循環器科を循環器内科に改称
平成29年2月	診療棟耐震化整備事業完了
平成29年5月	地域包括ケア病棟開設(5階病棟)
6月	日本医療機能評価機構病院機能評価 3rdG:Ver1.1 認定
令和3年4月	鼠径部ヘルニア日帰り手術(DH)センター開設
令和4年5月	子どものこころの外来開設

概要

病床数	一般 / 195床(うち 開放病床 / 10床、 地域包括ケア病床 / 99床)、結核 / 4床
診療科	内科、循環器内科、外科、整形外科、 脳神経外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、 皮膚科、泌尿器科、婦人科、麻酔科、 歯科口腔外科、放射線科
診療関係施設	心臓血管センター、人工透析センター、 内視鏡室、外来化学療法室、救急室、 健康管理センター、DHセンター
所在地	〒934-0053 富山県射水市朴木20番地 TEL 0766-82-8100(代) FAX 0766-82-8104 https://hosp.city.imizu.toyama.jp



小杉駅からコミュニティバスで19分
越中大門駅からコミュニティバスで23分
北陸自動車道小杉I.Cから車で約15分